

# いつ起こるか分からない災害に備えて 8月31日(土)は狭山市総合防災訓練

予測が困難で、ひとたび発生すれば甚大な被害をもたらす大規模地震は、いつ私たちを襲ってくるか分かりません。

災害が発生した時に、「自らが何をすべきか」を考え、災害に対して十分な準備ができるよう、ご近所やご家族など皆さんそろってご参加ください。

## 震度6弱を想定して防災訓練を実施

訓練当日は、午前9時に防災行政無線でサイレンを鳴らします。火災とお間違いないようご注意ください。また、訓練中止などの場合も放送を行います。

訓練は、各自治会が単独で行う自治会個別訓練と、各機関や自治会が協力して行う自治会連携訓練に分けて行います。

▶実施日時8月31日(土)、9時～12時30分

▶訓練実施地区など

自治会個別訓練／入間川地区、入曽地区、堀兼地区、柏原地区、水富地区、新狭山地区、狭山台地区

自治会連携訓練(会場)／奥富地区(奥富小学校)

▶訓練内容

自治会個別訓練／安否確認訓練、避難所開設・運営訓練、初期消火訓練など

自治会連携訓練／安否確認訓練、避難訓練、避難者名簿作成訓練、炊き出し訓練、防災学習訓練、簡易トイレ組立訓練など ※連携訓練会場では、聴覚障害をお持ちの方のために手話通訳も行います

## 地震！そのためのために

①地震発生時の行動をふだんから身につけておかないと、被害を拡大させることになります。冷静な行動を心がけましょう

▶まずわが身の安全 ▶素早く火の始末 ▶出口の確保

▶火が出たらまず消火 ▶外に飛び出さない ▶狭い路地、塀ぎわなどに近寄らない ▶避難は徒歩で、荷物は最小限に

②地震による死傷者の多くは、家具の転倒や物の落下によるものです。家具の配置を見直して安全なスペースを確保し、しっかりと固定しましょう。

③地震の際には、水道や電気などのライフラインの供給が中断したり、食料、日用品の流通機能が途絶することが想定されます。素早く避難できるよう日ごろから非常持ち出し品の準備をしておきましょう。

▶水(飲料水は1人1日3ℓ、3日分を目安に備蓄。洗濯、トイレなどの生活用水は、浴槽にためておく)

▶食料(米や缶詰、レトルト食品、はし、コップ、皿、高齢者や乳幼児の食料など) ▶懐中電灯(1人に1個)

▶燃料(卓上コンロ、ガスボンベ) ▶ラジオ(予備電池は多めに) ▶貴重品(現金、権利証、預金通帳、印鑑、健康保険証、免許証など)

▶医療品(かぜ薬、傷薬、胃腸薬、包帯など) ▶衣類(下着、上着、靴下、軍手、タオル、防寒着など)

▶日用品(洗面具、ロープ、ポリ袋、ティッシュ、筆記用具、生理用品など)

問合せ防災課へ内線3695



## 9月11日(水)に、全国瞬時警報システム(Jアラート)の試験放送を実施

市では、地震や武力攻撃などの有事の際に、国から送られてくる緊急情報を確実に皆さんにお伝えできるよう、防災行政無線を使用した情報伝達訓練を実施します。この訓練は、狭山市以外の地域でも全国的に実施される緊急事態に備えるための訓練です。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

日時9月11日(水)、11時ごろと11時30分ごろ(2回実施)  
放送内容「これは試験放送です(3回繰り返す)」+「こちらは、防災さやまです」+防災行政無線チャイム  
問合せ防災課へ内線3695

## 8月30日(金)から、気象庁が「特別警報」の発表を開始

気象庁では、8月30日(金)から非常に激しい雨や大きな津波などが予想され、重大な災害の危険性が高まった場合に、特別な警戒を呼び掛ける「特別警報」の発表を開始します。

特別警報の対象となる現象は、過去では「東日本大震災」や日本での観測史上最高の潮位を記録した「伊勢湾台風」の高潮、紀伊半島に甚大な被害をもたらした「平成23年台風第12号」の豪雨などが該当し、テレビやラジオ、防災行政無線など、さまざまな方法で伝えられます。

特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。屋外の状況や、避難指示・勧告などに留意し、避難所への避難や屋内の比較的安全な場所にとどまるといった命を守るための行動をただちにとってください。 ※詳しくは、気象庁ホームページをご覧ください

問合せ気象庁熊谷地方気象台防災業務課へ ☎048-521-5858

## まちの今…これから

### ● 防災ヘリコプター墜落事故による殉職者の慰霊と安全登山を願う

7月27日(土)、平成22年7月25日に秩父山中で山岳遭難者の救助活動にあたった県防災ヘリコプターが墜落し、この事故で殉職した5



人の隊員の慰霊碑が「彩甲斐街道出会いの丘」(秩父市大滝)に建立され、除幕式が行われました。

この事故では、本市の中込良昌消防司令長も搭乗し、救助活動にあたっていましたが帰らぬ人となっています。慰霊碑には、「人命救助という崇高な任務を果たすべく殉職された五人の功績を末永く後世に伝える」「登山者をはじめ山に関わるすべての人が安全でありますように」とあり、殉職者の慰霊と、登山者などの安全を祈願しています。

### ● 積極的な防犯活動に感謝状

日ごろの積極的な防犯活動が評価され、中窪自治会・北上自治会・水押自治会に、埼玉県防犯のまちづくり推進会議から感謝状が贈呈されました。おめでとうございます。



左から、関口洋一中窪自治会長、仲川市長、小川洋之北上自治会長、石原正夫水押自治会長

問合せ交通防犯課へ内線3691

### ● 「おりぴい」が市のイメージキャラクターに

「おりぴい」が、今年5月1日に正式に狭山市のイメージキャラクターになりました。

「おりぴい」は、狭山市入間川七夕まつりを盛り上げ、狭山市を元気にするために織姫様から遣わされた七夕の妖精です。これから、市をPRするため、さまざまなイベントに登場します。

見かけたら、声をかけてあげてください。

問合せ商工業振興課へ  
内線2551



## 市長の主な動き

○7/3…白寿訪問 ○7/8…埼玉県都市競艇組合議会臨時会 ○7/11…埼玉西部消防組合正副管理者会議 ○7/11・24…定例庁議 ○7/13…都市対抗野球大会・狭山市ホンドン応援 ○7/23…埼玉県都市競艇組合定例監査 ○7/25・26…全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会正副会長会議 ○7/27…「あらかわ1」墜落事故殉職者慰霊碑除幕式 ○7/29…防災会議 ○7/30…埼玉西部消防組合議会定例会



史も大切にしたいものです。

柏原地区に富士塚があり、狭山市誕生後に、入間川地区に富士見1・2丁目がありました。入間川に架かる橋にも「富士見橋」があります。また、富士山は霊山として信仰が盛んで、旧村すべてに浅間神社、富士嶽神社、富士浅間神社があります。私が子どものころ、母の里である青柳に行っては、富士塚を一合目、二合目と数えながら登るのも楽しみの一つでした。

8月21日には、広瀬の富士浅間神社で恒例の火まつりが行われます。護摩木を3mもの高さに組み上げて点火し、鎮火、安産、豊蚕を祈るこの勇壮な火まつりが続いているのも富士講を守ってくださる皆さんの努力があってこそです。祝賀ムードに沸く富士山とともに、身近な富士に触れ、郷土に残る富士の名や歴史も大切にしたいものです。

## 狭山市と富士



狭山市長 仲川幸成  
似顔絵・花倉正喜氏

## 市長随想 ⑨7

富士山がユネスコの世界文化遺産に登録され、登山者でにぎわっているというニュースを耳にします。日本一といえば、すぐに「富士山」を連想するのは私だけではないでしょう。